

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立北粉浜小学校

児童数

46

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.82	19.43	31.62	41.43	47.09	9.40	144.91	24.65	53.00
大阪市	16.39	19.24	32.42	39.47	48.99	9.37	147.87	22.59	52.61
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
女子	17.27	15.05	33.64	40.29	42.71	9.58	150.24	14.18	54.62
大阪市	16.20	18.22	36.84	37.74	39.18	9.62	142.12	13.94	54.30
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54

結果の概要

- ・男女とも合計点で全国平均とそん色がない。その中でも男子は、「シャトルラン」のように持続的な体力は全国平均より下回っている。反面、「握力」や「ソフトボール投げ」は全国平均より上回っている。これは、校区内に走り回れる公園がないことや、運動場での遊びの中心がドッジボールが原因と考えられる。
- ・女子は、どの種目もおおむね全国平均を上回っている。これは、体格的に大きな児童が多いことと、普段から運動場で遊んでいる児童が多いことが要因として考えられる。ただ、「上体起こし」や「長座体前屈」が全国平均より下回っていることから、柔軟性において課題があるといえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ・これまでの「全国体力・運動能力」の結果から、持続的な体力向上を図るために一昨年度より「かけ足週間」を、さらに今年度より「縄跳び週間」を設定し、自身の体力への関心を高めるとともに、継続した運動することへの意識を高めることができるようになってきた。
- ・体育の授業において、準備運動に重点をおいた指導に努めてきた。学習のねらいに応じたストレッチ体操や基本となる運動を繰り返し行い、運動の量よりも質を高めていくようにしてきた。
- ・今年度取り組んだ「なわとび週間」を継続的に行うことができるように、指導者自らがなわとびの研修を行い、技能を身につけるようにしてきた。また、「かけ足カード」や「なわとびカード」を工夫し、意欲的に運動を続けることができるようにしてきた。